

## <取材のお願い>

2022年11月21日

東京海洋大学

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

### 持続可能な水産業の実現をめざした日・タイ学生交流

～北海道/八雲町のガバナンスとアントレプレナーシップを漁業や養殖への取り組みから学ぶ～

東京海洋大学では11月28日(月)～12月3日(土)、ブラパ大学(タイ)の大学生10名、教員1名、計11名を招き、持続可能な水産業を実現するための研修プログラムを行います。プログラムの主な実施場所となるのは「ホタテの養殖」で全国的にも有名な北海道・八雲町です。同地ではホタテ以外にも、たとえばサーモン、アワビ、ナマコなどを養殖しており、八雲町の日本海側、奥尻島などを望む熊石地区では海面下340mから海洋深層水をくみ上げて有効活用していることでも有名です。

漁獲量の減少を受けて、アジアでは水産資源に占める養殖の割合が年々増えており、ブラパ大学が位置するタイ東部も様々な魚種の養殖で有名です。しかし、常に水害など深刻な自然災害にも悩まされており、特にエビ養殖池では病原菌発生による多大な被害が広がるなど、養殖管理のあり方には長年、重大な課題をかかえてきました。

一方、八雲町でも近年は地球温暖化などの影響により、漁業や各種養殖業に深刻なダメージをもたらしています。しかし、同町では、通年出荷を可能にし、環境変化の影響も受けにくい陸上養殖や孵化・種苗生産設備の整備、そして水産の新規事業等に挑戦しており、2023年以降の本格出荷を目指して、町をあげて漁業再生への挑戦を続けています。

本プログラムでは、タイからの招へい学生と日本の学生がともに八雲町役場を訪問し、地元漁業振興や水産業支援への行政の取り組み(地方自治体のガバナンス強化策等)を学びます。また、ホタテ、アワビ、サーモン、ナマコ等の養殖場を訪問して、新技術や新規事業開発への取り組みを学びます。持続可能な漁業・水産業を維持していくための過程で、どのようなガバナンスとアントレプレナーシップ(起業家精神)が必要なのかを、関係者への取材から理解し、長期的な目標達成までの道筋を考察することが目標です。

招へいする学生は、水産業を学ぶ優秀な学生であり、タイの漁業や養殖業に高い関心があるため、タイと八雲町をつなぐネットワークが形成される可能性があります。さらに、本プログラムをきっかけとして、養殖業に注力する『八雲町』と、ブラパ大学があるタイ東部の養殖と水産業の町『チャンタブリ』との交流に発展することも期待できます。

最終日前日には、都内に戻り SSH 校（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている文京学院大学女子高等学校の「アジア研究講座」に参加します。ここでは、八雲町で学んだ成果を報告する機会があると同時に、未来を担う日本とタイの若者同士が「持続可能な社会実現」をキーワードとして交流を深めることが狙いです。

本プログラムは科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」\*に採択されたものです。2016 年度から複数回の採択実績があり、過去に実施されたプログラムをきっかけとして、海外の大学との大学間協定に結びついただけでなく、本学で学ぶ日本人学生が貪欲に学ぶ熱心なアジア学生に刺激を受け、語学学習や海外派遣、中長期の留学等へ挑戦する意欲が高まるなどの効果が生まれています。

つきましては、招へい学生が本学の学生とともに八雲町で取材を行う様子、および文京学院大学女子高校での報告の様子などを取材して頂きたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の小松俊明教授へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

<参考>

2019 年度活動レポート

[https://ssp.jst.go.jp/report/2019/k\\_vol329.html](https://ssp.jst.go.jp/report/2019/k_vol329.html)



2019 年度



2018 年度

2018 年度活動レポート

[https://ssp.jst.go.jp/report/2018/k\\_vol205.html](https://ssp.jst.go.jp/report/2018/k_vol205.html)

2017 年度活動レポート

[https://ssp.jst.go.jp/report/2017/k\\_vol156.html](https://ssp.jst.go.jp/report/2017/k_vol156.html)



2017 年度



2016 年度

2016 年度活動レポート

[https://ssp.jst.go.jp/report/2016/k\\_vol070.html](https://ssp.jst.go.jp/report/2016/k_vol070.html)

【実施内容】

- 東京海洋大学とブラパ大学の学生交流、各種研究活動を視察
- 函館魚市場、自由市場、函館山などの見学
- 八雲町役場：八雲町の水産業振興に向けた地方自治体の政策、ガバナンス強化を学ぶ
- 八雲町の養殖：熊石サーモン種苗生産施設、熊石漁港サーモン養殖場、北海道大学との連携研究施設、熊石アワビ種苗生産施設、ナマコ種苗生産施設、養殖ホタテ水揚げなど
- 八雲町の海洋深層水：熊石海洋深層水交流施設
- SSH 校 文京学院大学女子高等学校「アジア研究講座」にて報告

【研修日程概要】

- 11月28日（月） 午前 入国、オリエンテーション  
午後 学生交流、各種研究活動を視察
- 11月29日（火） 午前 北海道へ移動  
午後 函館魚市場、自由市場、函館山などの見学
- 11月30日（水） 午前 八雲町役場を訪問し、漁業・水産業振興の取り組みを学ぶ  
午後 養殖現場、種苗生産施設等を視察
- 12月1日（木） 午前 ホタテ水揚げ視察  
午後 東京へ移動
- 12月2日（金） 午前 東京海洋大学にて発表準備  
午後 SSH校 文京学院大学女子高等学校「アジア研究講座」にて報告
- 12月3日（土） 午前 帰国

\* 「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費をJSTが支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



---

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

東京海洋大学総務部総務課広報係

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

（担当：田中(禎)、太田）